



【内部資料】発行責任者
佐藤せい子を育てる会
会長 坪井英明

せい子通信

あなたの声を届けます！市議会議員は地域づくりのレポーター 2016年 春号 vol.52



新政会 しんせいがい だより

平成28年4月1日発行

第28号

発行/静岡市議会 新政会
編集/新政会 広報部
〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号
TEL 054-254-2111
(内4505)
FAX 054-653-3412

残された任期を全うし、次なるステップへ…

静岡市監査委員の役割を終え、大局的に市政を視る事が体得できたように思います。税金をどのように運用しているのか、どこにどの様に使うべきなのか、適正化をチェックする目を持つことは、まさに議会の2元代表制の責務であり、監査委員でなくとも必要な資質ではありますが、法律に則って行政が進められている事も改めて実感でき、まさに有意義な1年でした。今後の総括質問や委員会活動に活かしていきたいと思っています。さて、今夏は参議院選挙が予定されており、衆参同日選挙

も囁かれています。安倍政権の強引とも言える状況を皆さんは、どのように受け止めていますか？政治にはバランスが必要であると思います。対局できる場所がない事も問題ですが、安倍首相の独り舞台では困ります。国民の声を聴いているか、はなはだ疑問です。私は、日常の中にある政治をしっかりと吸い上げ、それらの課題解決に力を注いでいきたいと、今、改めて意識しています。新年度を迎え、今年も全力で頑張ります。皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。



「保育園落ちた日本死ね!!!」の意味するもの…

2016-02-15

■ 保育園落ちた日本死ね!!!

ネット上で様々な声が噴出し、国会でも議論され、安倍首相も対応せざるを得ない状況になったことは周知の通りですが、形だけ女性活躍推進法を制定しても社会はそう簡単には変わりません。困った時の女性頼み！のような政策の考え方を根本的に変えていかなければなりません。扶養家族として位置づけていた女性たちを、経済の行き詰まりにより、自分の生き方は個人が選択するのにもかかわらず、「働いて輝け！自己実現だ！」と言っています。働ける環境も整えずに…。安倍首相は、「働かざるを得ない状況」と「働きたい！」ということには、大きな違いがあることを理解しているのでしょうか？

静岡市・子育てしやすい街地方編 第1位

静岡市が日経DUALの「自治体の子育て支援に関する調査」地方編で第一位になりました。これを是非、より良い子育て環境の充実に繋げてほしいものです。「待機児童いるのに」「私は実感できない」などの声もありますが、子育て対策の政策は、随分このごとき存在します。その対応こそが子育てしやすい街第一位の継続に繋がります。



働く場の確保を！

春社会人としてデビューできた人は幸せです。非正規は、15歳～24歳 30.7%、25歳～34歳 28%（2014年調査）とかなりの高さで、年々上昇しています。これでは結婚もできず、少子化が益々進みます。若者たちが希望を持ち将来の夢を語るのには政治の責任でもあります。静岡市は人口70万人維持の実現を掲げ、雇用の拡大に取り組んでいます。働く場があれば、人は集まってきます！



6月議会
予定

- 6/14 議案説明会
- 6/21 本会議
- 6/29・30・7/1 本会議（総括質問）
- 7/5・6 常任委員会
- 7/12 本会議



〒422-8008 静岡市駿河区国吉田 4-25-19
TEL：054-267-2000 FAX：054-267-2001
ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/sseiko1022>
ホームページ satoseiko.com
メール sseiko@nifty.com

新政会代表質問



平成28年2月議会において、池邨善滿政調会長が新政会を代表し質問にたちました。質問では、市長の施政方針や行財政改革、第3次静岡市総合計画・総合戦略の具体的施策等について伺いました。（以下、質問一部抜粋）

静岡市の課題は、行政サービスの維持向上に向けた人口減少への対応であり、平成37年に総人口70万人維持という目標を達成することです。今回の代表質問は、静岡市の強み・魅力を最大限に生かし、一段高いレベルの静岡市を実現して頂きたいとの思いを込めて行いました。



市長の施政方針について

人口70万人維持に向けて、どのような組織体制で人口減少対策に取り組むのか。

問題解決に向け、レスポンスの良い庁内体制が必要。企画局に「政策推進統括監」を、保健福祉長寿局に「健康長寿統括監」を新設し、組織体制の増強を図る。庁外体制としては、外部有識者で構成される「政策・施策外部評価委員会」において、専門的見地で総合戦略の評価を行う。

行財政改革について

本市の今後の予算編成における課題とその対応をどのように進めるのか。

「財政の中期見通し」では、平成31年度までの各年度の財源不足額は60億円から74億円に達する見込み。今後の予算編成における課題は、「投資的経費の財源確保」「増大する経常的経費の抑制」の2点である。「投資的経費の財源確保」については、選択と集中を図りつつ国の補助金や財政措置の有利な地方債の積極的活用を努める。「経常的経費の抑制」については、アセットマネジメント推進により総資産量の適正化を図り維持管理経費抑制に努める。

若者の投票率向上について

公職選挙法改正に伴う投票率向上に向けた環境整備をどのように進めるのか

期日前投票所については、人が集まりやすい条件の揃った静岡庁舎に、指定都市で初めて市内3区すべての方々が投票可能なブースを設置した。また、期日前投票所の距離的な不便などを解消するため、期日前投票所の増設や出張型期日前投票所を開設してきた。これらの投票所の整備は、投票率の向上につながる1つの要因と考え、引き続き本市の実状を踏まえた取り組みを進める。

3次総・総合戦略の具体的施策について

子育て情報サイト「日経デュアル」において、共働き子育てしやすいまち第1位となったことについて、どの点が評価されたと考えているか。また、さらなる子育て支援の取組みをどのように進めるのか。

本市については、0歳児保育の申請児童数に比べて定員が多いことなどが評価され、認定こども園への積極的な移行や、独自の待機児童園、子育てトーク事業、一時保育事業、子育て支援ヘルパー派遣事業などの取組みが紹介されている。

本市としては、これに満足することなく、認定こども園の推進、静岡方式の待機児童対策、不妊治療や子ども医療費助成の充実など、本市の強みとなっている事業をはじめ、結婚、妊娠・出産から乳幼児期、学童期、青年期までの切れ目のない施策を更に拡充・深化させていく。

企業立地の推進に向けては、直接的な立地支援だけでなく市内ですでに操業している企業に対して成長支援を行うことも重要と考えるが、市はどのように考えているか。

企業立地を推進していくためには、“直接的”な「立地」支援だけでなく、“間接的”な支援として、すでに立地している市内企業の定着・成長を促し、設備投資の需要をさらに生み出すよう、企業が「成長」する過程に対する支援もまた重要である。

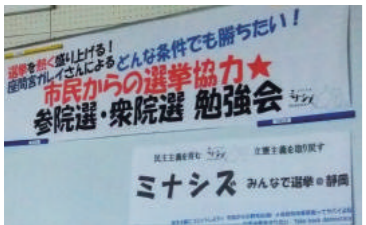
企業の「成長」に向けた支援としては、企業の生産性向上や新製品開発、販路拡大、新分野進出、経営革新へのサポートなどがある。このような取組みを通して、企業が持続的に「成長」し、また、本市への愛着や信頼を抱きながら事業活動を行っていただくことは、地域経済の発展に欠かせないものであると考えている。



イスラエル・パレスチナ中東和平会議



平澤観音豆まき



市民からの選挙協力

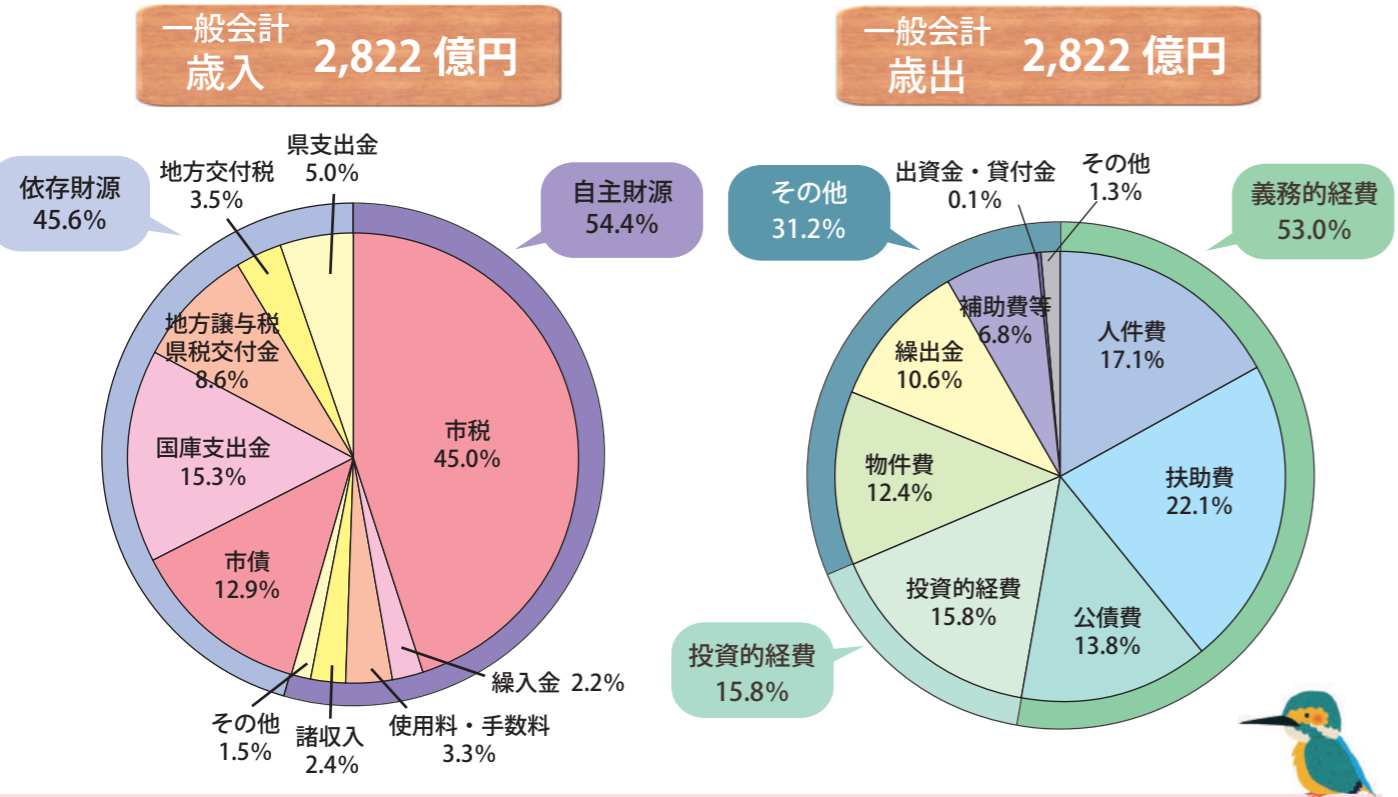


市議会でエスパルスを応援

佐藤せい子

当初予算

平成28年度当初予算一般会計 2,822 億円 (前年度比 -0.1%)
 「歴史文化」と「健康長寿」をキーワードに重点配分
 地方創生総合戦略に基づき、人口減少対策を積極的に展開



市民 1 人当たりの予算 400,465 円はどのように使われます



*一般会計のそれぞれの額を平成28年1月の推計人口で割りました。(カッコ内は前年度との差額)



- 用語解説**
- 民生費…生活保護、障がい者・老人・児童福祉等に要する経費
 - 公債費…地方公共団体が発行した地方債の元利償還等に要する経費
 - 総務費…本庁舎管理、選挙、職員給与等に要する経費
 - 衛生費…健康づくりや環境対策、ごみ処理等に要する経費
 - 労働費…勤労者などへの支援費などの経費

「歴史」が彩る 12.1 億円

- 400+ プロジェクトの推進 (駿府城公園エリアの整備)
 - 歴史文化施設整備の推進
 - 駿府城公園内の天守台跡発掘調査、見える化
 - 駿府城公園「桜の名所」づくり推進
- 東海道歴史街道 (二峠六宿) の推進
 - 東海道歴史街道における街道観光の推進
 - 東海道歴史街道観光施設、観光トイレの整備
- 三保松原の保全と活動
 - (仮称) 三保松原ビジターセンターの整備
 - 三保松原保全ボードウォークの整備



「文化」が薫る 23.0 億円

- 東静岡・草薙地区の賑わい創出
 - 東静岡「アート&スポーツ/ヒロバ」の整備・運営
- 清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進
 - 海洋文化拠点の基本構想策定
 - 大型客船寄港時の受入れ態勢の充実
- オクシズ・しずまへの振興
 - 地域おこし協力隊の受入れの拡充 (井川、玉川、清沢)
 - しずまえ鮮魚の普及促進
- 「創造都市」の推進
 - 「まちは劇場」プロジェクトの推進
 - 東静岡アートパークの推進



「中枢」性を高める 79.1 億円

- 首都圏等からの移住・定住の促進
 - 新幹線通学費貸与制度の創設
 - 高校同窓会と連携したUターン就職等の促進
 - 移住支援センター運営事業の充実
- MICEの推進等による交流人口の拡大
 - オリンピック・パラリンピックの合宿等誘致
 - 静岡地域連携DMOの推進
 - 官民連携インバウンドの推進
- 戦略産業への支援・育成
 - 大谷・小鹿地区まちづくり計画の推進
 - 企業立地促進事業助成の充実
 - 地域を支える中小企業への支援の拡充



「健康」で輝く 218.7 億円

- 健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築 (「自宅ですっと」プロジェクト)
 - グループ活動を通じた高齢者の社会参加の推進
 - 介護支援ボランティアポイント制度の拡充
 - 小圏域における在宅医療、介護連携の推進
 - 医療、介護、福祉スーパーバイザー人材の配置
- 静岡型子ども・子育て支援の推進
 - 産後ケアの充実、ママケアデイサービスの創設
 - 不妊治療の拡充
 - 子どもの貧困対策の推進



S型デイサービス

「防災」力を備える 106.6 億円

- 災害対応力の強化と危機管理体制の確立
 - 津波避難タワーの整備
 - 用宗・由比漁港の地震、津波対策の強化
 - 湾岸消防署庁舎の移転建設
- 浸水・土砂災害対策の拡充等
 - 浸水対策推進プランの着実な実施
 - 安倍川、富士川洪水ハザードマップの作成
- エネルギー関連産業の立地促進と再生可能エネルギーの導入・普及促進
 - 静岡型水素タウン構想の策定
 - 水素ステーション建設への助成



現在の由比漁港



水素ステーション

「共生」を尊ぶ 27.5 億円

- 多様な人々による共生
 - 「しずおか女子きらっ☆」プロジェクトの始動 (女性の活動とワークライフバランスの推進)
 - 障がい者の就労環境の充実
- 南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生
 - 南アルプスの環境調査の実施 (水環境調査等)
 - ライチョウの保護
 - 南アルプス周辺登山道の整備
- まちづくりは人づくり・シチズンシップ
 - 高等教育のあり方検討の推進
 - 「しずおかシチズンカレッジ こ・こ・に」の推進 (地域リーダーや社会事業家の養成)



ライチョウの保護活動